

2021. 6.29

## ドローンで防除軽減 かんきつ園地 実証試験

三原市鷺浦町と木原町の柑橘園地で、ドローン（小型無人飛行機）による薬剤散布実証試験を行い、生産者や行政関係者など約 40 人が見学に訪れました。

柑橘園地は、急斜面が多く、また道幅が狭いため防除機械や車が入りにくいです。防除作業は農家にとって大きな負担となっており、作業負担の軽減が課題となっています。

今回の試験は、通常の防除計画の中にドローンによる薬剤散布を組み込み、最終的な果実品質や、費用対効果などを検証し、より実用性を見極めることを目的としています。ドローンの操縦は、水稲の薬剤散布ですでに JA と連携しているテクノス三原（株）が行い、2 園地の平均フライト時間が 10 アールで約 6 分と、従来と比べ大幅に作業時間が短縮されました。

同 JA 営農課の林康輝課長は「生産者の負担軽減になるよう、実用性が実証できた段階で推進を図っていきたい」と話しました。

